令和 6 年度

自己評価書・学校関係者評価書

評価対象期間　自:令和 6 年 4 月 1 日
　　至:令和 7 年 3 月 31 日

令和 7 年 5 月 30 日

東京愛犬専門学校

令和 6 年度　学校関係者評価報告書

学校法人　東京愛犬学園
東 京 愛 犬 専 門 学 校
学校関係者評価委員会

1、開催日時

令和 7 年 5 月 30 日～令和 7 年 6 月 15 日

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、各委員へ自己評価資料を郵送し、

評価を依頼した。

2、学校関係者評価委員

・ 業界関連企業　動物病院院長

・ 業界関連企業　会社役員

・ 業界関連企業　会社役員

・ 卒　業　生　ペットサロンオーナー

3、評価方法について

東京愛犬専門学校が行った自己評価結果について「適切」または「不適切」の 2 分法にて

評価を行い、①現状、②課題、③今後の改善策についての意見を記入した。（④）

評価項目の達成及び取り組み状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1

① 現状

- 学校法人窪田理容美容専門学校の姉妹校として1970年10月15日に東京都中野区で開校した。本学の建学の精神は「トリマー・動物看護師としての専門の理論と技術を授け、動物業界の発展に寄与できる心身とも健全な社会人を育成することにあり、変化激しい現代社会に即応するために、国際的な視野から創造力を学び、自主性の確立に努力することを重点とする」とし、校訓として「忍耐・創造・独立」を掲げている。忍耐とは継続し、努力し、技を生む力。創造は創造美をつくる、感性を磨く思い。独立は自立できる人間になる思いをその校訓に含め、専門校として動物分野の養成校の目的・責務を普遍的に果たすことを示している。2004年に専修学校として東京都知事から認可を受けた後も、その精神を受け継いでいる。また現在では「人間と動物との共生」を基本理念に置き、人とペット双方に幸せを与え、職業教育の垣根を越えた社会貢献のできる社会人育成を目的にしている。
- 学校案内書や学校ホームページなどに教育理念・目標を掲げることで、学生・保護者等に周知している。また、資格取得・就職指導・普遍的講師陣など本校の特色を前面に打ち出すことにより、他校との差別化を図っている。
- 前年までの課題であった保護者等への理解度については、体験入学会参加の際に保護者説明会を開催するなどして向上を図っている。保護者等の同伴率は70%を超えている。

② 課題

検討中

③ 今後の改善策

検討中

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 2、どちらともいえない 1、不適切 1】**

- 課題をクリアーするように、がんばって下さい。
- 急激に進化しているAIについて積極的に教育に導入していく必要性がある。トリマーや動物看護をはじめとした動物業界の世界においてもすでにAI化がすすんでおり、それに対応する教育環境の構築が急務と思われる。
- 建学の精神、教育理念、校訓が教育現場に浸透し、学生や保護者にも周知されている。
- 時代の変化に伴い求められていることも変わるため、その都度課題を見極め速やかに改善策を講じることが大切だと考えております。

(2)学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	(4) 3 2 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	(4) 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	(4) 3 2 1
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4 (3) 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 (3) 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	(4) 3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	(4) 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	(4) 3 2 1

① 現状

- 毎年3月に開催される理事会において、学校運営に支障なきよう適切な予算が組まれ、承認されている。また、同日に行われる評議員会において学内外の意見を広く聴取し、学校運営・予算等に反映されるよう努めている。
- 職員に関する規定については就業規則・給与規定・旅費規程・退職手当規定等により整備されている。
- 法令を順守し業界や地域社会と連携して環境向上を図っている。通学時の喫煙、飲食、その他のマナーについて厳しく指導を行っている。登校時においては挨拶の励行、服装・頭髪の指導をし、近隣住民に不快感を与えないよう心掛けている。
- 前年より進めていた学生管理システムを導入し出欠席、成績、小テスト、学生への連絡等の管理が円滑に運ぶよう改善した。

② 課題

- 前年の課題である人事考課に関しては依然検討中ではあるが、昇給及び賞与の一律査定を廃止し個別査定を導入した。

③ 今後の改善策

- 引き続き人事考課のシステム化を検討していく。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 2、どちらともいえない 1、不適切 1】**

- 創立55年になる今年度においては、しっかりとした足場をもとに中長期の視野をもった計画を掲げ、それを実現していかなければならない。年々深刻さが増す少子化、外国籍の方への定住化への対応などにも学園としての具体的なビジョンを提示することも必要と思われる。
- 学校運営の予算は無理のない範囲で組まれ、理事会で承認されている。職員の待遇は諸規定が整備されている。有能な人材が安定的に確保できる法整備も考えられている。学生の管理も社会通念で理解される管理がされている。
- システム化は非常に素晴らしいと思います。

（3）教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	④ 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 現状

- 年間カリキュラムに沿った講義、実習の知識習得を行っている。関連分野における優秀な講師陣により、各分野での専門知識を持ったプロフェッショナルを目指すよう教育を行っている。
- 本校の得意分野であるグルーミング実習では、グルーマーコースのみならず、トレーナーコース、動物看護学科にも豊富な実習授業を取り入れ、トリミング犬種の基礎知識を強化して指導している。
- 動物看護学科においては、国家資格の愛玩動物看護師、資格取得を目指し、認定されたカリキュラムに沿った教育と、現場でニーズの多いグルーミング技術習得、トリマーライセンス取得の強化をしている。

・ 3年目を迎えたトレーナーコースにおいては、実践さながらに犬の社会化を目指した、「犬の幼稚園」を校内で実施し、近隣の犬と飼い主様にも参加して頂き好評を得ている。
・ 社会に出て必要なコミュニケーション能力を強化する為に、ビジネスマナー講習を行っている。
・ 就職において企業との連携によりインターンシップや企業説明会を実施、就職担当との面談も密に行われている。

② 課題
・ 新入社員を含めた若年職員（教員）のレベルアップ。
・ 技術指導において、実践力がつく教育を充実させる。
・ 自ら学習する意欲を付けさせる。
・ コミュニケーション能力のより向上を目指す。

③ 今後の改善策
・ 近年の学生において、コミュニケーション能力が足りない傾向にある。
・ クラス内のみならず、講義授業内での発言やインターンシップ先など、特に外部に出た際が目立つ。
・ 就職活動に大きく関わる部分となるので今後、この点の改善が検討課題である。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**
・ 課題をクリアーするように、がんばって下さい。コミュニケーション能力は、世の中がそうです。
・ 専門学校教育は、専門分野の技術・知識を身に付け社会において即応できる人材を育成することにある。本学園においては卒業後のほとんどの進路はサービス業になるため、学業においては人間育成教育が今後の就職実績の充実にも必務と思われる。
・ 学生には基礎知識・技術の習得から卒業時には資格取得、コミュニケーション力をつけるまで丁寧な個別指導も行われている。教員・職員のレベルアップにも指導を行っている。
・ 今後の改善策の 3 つは策ではなく、現状についての説明では？

（4）学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 現状

・ 本校では 1 年生の 3 月より就職活動プランに基づき「接遇マナー」「就職ガイダンス」「企業説明会」等、毎月目的を明確にした指導を実施。担任および就職担当者を交え、学んだ技術を活かした企業等へ就職するよう指導している。若干名であるが意識の薄い生徒もおり、就職率 100%には届かない状況である。
・ 資格取得に関しては、JKC公認トリマー「指定機関」としての充実した教育内容で他校では取得できないトリマーB級を取得させている。また動物看護学科でも国家資格のみでなく、本校の強みであるトリマーの資格も取得させ「メディカルグルーミング」ができる人材を養成し、他校との差別化をしている。
・ 「キャンパス手帳」を使い、日々の出席状況、成績管理をしている。休みがちな学生に関しては早い段階で警告指導、成績不振の学生には追試を受けさせ、勉強の遅れによる学習意欲の低下を防いでいる。
また、状況把握を共有するため保護者とも緊密な連絡を取り、退学者が減少するよう努力している。
・ 在校生に関しては「JKCトリミング競技大会」に向け、日々の実習を充実させている。本選出場決定者に対しては特別授業を実施し、より一層技術向上を図らせ、優勝を目指す教育をしている。
卒業生に関しては、同窓会を通じ現状の把握および講習会を実施し技術向上に貢献している。

② 課題

・ 就職率 100%を目指す。早い段階から取り組むことにより就職に対する意識を高めることが重要。
・ 担任が常時学生の状況を把握することが重要。学生とコミュニケーション取り、気軽に相談できる環境を整える。悩み事があれば早い段階より保護者とも連携し、解決することにより退学者を減少させる。
・ 時代にマッチした人材育成するため、同窓会を通じ卒業生より現状を把握する。

③ 今後の改善策

・ 専門学校では就職率は最も高く評価される課題であり、早い時期より学生に意識を持たせ指導することにより未決定者をなくす→就職率 100%を目指す。
・ 入学時より「目標達成シート」を作成させることにより、目標を達成するためには今後どのようなことをしていかなければならないのか？等を考えさせる。
・ 目標達成シートに従い行動することにより学ぶ態度や実習に取り組む姿勢が大きく変わってくると思う。
・ 卒業生に対しては同窓会等を通じて、技術のレベルアップ講習会等を実施。
・ 現場で活躍している卒業生より現状把握した内容をカリキュラムに反映させ、採用側が求める人材を育成する→就職アップにつながる。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 2、どちらともいえない 1、不適切 1】**

・ 就職率 100%より、2～3 年後まで同じ職をしているか？離職率を低くすることが大切です。
・ 学習成果における現状及び今後の改善策においては、接遇マナーなどの講習が散見されるが、年間行事的な意味合いが見て取れる。望むに、英語等外国語、接遇、PC 等スキル、一般教養などの教科をカリキュラムに取り入れ専門教育がより幅広いものとなることが必要と思われる。
※これらに関しては、週 1～2 時間で取り入れることが望ましい。
・ 入学時より卒業まで必要なマナーや技術を習得させている。その習得した知識・技術を実社会で活かせるように積極的な就職活動を行っている。
・ 非常に良い改善策だと思います。

（5）学習支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	(4) 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 (3) 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 (3) 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 (3) 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 (3) 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 (3) 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 (3) 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	(4) 3 2 1

① 現状

- 就職担当の専任職員を置き、クラス担任と連携しながら学生の就職指導にあたっている。総合学習の位置づけで接遇マナー講座、業界説明会、就活ルール、企業説明会等を教員と連携して行っている。求人票の閲覧にインターネットツールを用いた閲覧を可能な状態とし、学校外でも就職先の検討ができるよう整えた。
- 学生生活において重要となる出席率の管理は学生各自の管理としているが、クラス担任からの注意喚起も行っている。
- 奨学金は多種多様な制度があり、年間に数回説明会を実施している。また、奨学金担当者が個々の学生への指導も行っている。
- 全学生に健康診断を行っている。学生団体保険に加入をして、就学中のみならず通学途中、インターンシップ、企業実習中の事故にも対応している。
- 今年度よりの試みであるが、研修旅行に看護師の同行を開始した。
- 事案が発生した際には保護者に連絡をし、電話相談や学校での面談も行っている。
- 同窓会を毎年開催し技術研修会を行い、卒業生に有用な情報交換や懇談近況報告の場としても利用してもらっている。

・ 高等学校での進路ガイダンスや職業説明会、体験授業などを通じてキャリア教育、職業教育への理解を深めるよう努めている。高校生の職業意識や専門学校への進学目的意識の向上に努めている。また、中学生の修学旅行中においての職場学習にも対応している。

② 課題

・ ネット環境の整備とネットリテラシー教育においては、少しずつではあるが整備進行中であるので、少しでも早く実行できるように進めたい。
・ 学生カウンセラーの必要性が増えて来た為、環境を整えていくこと。

③ 今後の改善策

・ 就職活動での求人票の閲覧、エントリー、報告、などインターネット環境を利用し活動や、指導ができるように整備する。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**

・ (1)～(4)までの意見に集約される。
・ 就職担当の職員が精力的に就職情報を集めて、学生に就職活動の指導を行っている。また、インターネット環境を整備して学生の求人の閲覧を可能にしている。
・ オフラインでは学生に対して丁寧な対応をされているので、オンラインが強化されると大きな効果が期待できそう。

（6）教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4　(3)　2　1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4　(3)　2　1
防災に対する体制は整備されているか	4　(3)　2　1

① 現状

- 専修学校設置基準及び関係法令の基準に適合した施設・設備等を備えている。教育上必要な実習室、普通教室、図書室など学習支援のための施設を整備し有効活用している。
- 教育上必要な機器、備品、図書等については、私立専修学校教育環境整備助成金等を利用し、年間予算を策定しながら計画的に導入している。
- インターンシップについては、受け入れ先企業と連携し愛犬総合学科（希望者のみ）・動物看護学科ともに毎年実施している。受け入れ先企業への就職内定の割合も少なくなく、就職後の企業と学生とのミスマッチ改善にもつながっている。
- コロナ禍が終わった今、インターンシップや研修旅行は以前のようにつつがなく開催されるようになった。
- 毎年、東中野消防署の指導により防災訓練を実施しており、職員・学生ともに防災についての意識は高い。また、全職員・在校生の防災備蓄品を保管している。
- 昼休みにおける飲食スペースの確保については、2号館講義室を開放するなどして対応しているため、現状不満の声などは出ていない。

② 課題

- 学生の更衣室・ロッカールームに十分なスペースが確保できていないため、改善を要求する声が多い。
- 防災備蓄品の保管数が十分な数とは言えず、全職員・学生に対する数日分の備蓄を置くスペースがないのが現状である。避難場所指定は受けていないが検討材料である。

③ 今後の改善策

- 昨年に続き課題点の多くは、校内スペースが問題となっている。現在の倉庫・保管庫の整理をし、古い書類やいらないものを捨てるなどで改善を図る。
- 現状の予算枠では大規模な改修等は無理なため、中長期で見ていく必要がある。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**

- 施設・設備は限られているが利用タイムテーブルを整備して、有効活用できるように学生の居場所を作ってもらいたい。
- 学生の不満は、今後入学を検討する高校生に大きく影響すると考えられるため、早急に改善できるところから進めるべき。

（7）学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 現状
- 今年度は入学者を増やす対策として体験入学会の実施回数を増やした。
- 広報部スタッフの人数も増え、埼玉県、多摩エリアを中心に積極的に高校ガイダンスに参加しているが、個人情報の関係で名簿取得が出来づらくなっており、その後の体験入学会等への誘導案内が直接本人に出来ず苦戦している。
- 新たな募集方法として今の時代マッチしたインスタグラム、TikTok、LINE、YouTube 等を使い、幅広く動物分野に興味を持った学生に本校を知ってしてもらえるよう、活動を始めた。
- 体験入学会参加者は昨年度と比較し微増であるが、今後は回数を増やしたことにより増えていくであろう。
- 昨年度の体験入学会参加者からの入学者は 224 名中 94 名で 42%と目標としていた結果がでなかった。

② 課題
- スタッフは増えているがまだ入社が浅いため、本校の強みである資格取得および就職実績の強みをしっかり伝えきれていないところもある。
- ガイダンス等で説明した学生を来校させるためにも知識レベルアップをすることが課題である。
- 体験入学会で参加者増はもっともであるが、入学率を上げることも重要課題である。
- 本校知名度の低下。以前本校の教育内容に共感し学生を送ってくれた高校教員が世代交代し、現在進路を担当している教員方は本校を知らない方も多い。ガイダンス等に参加するだけでなく高校訪問を充実させ本校の強みを伝えることが大切である。

③
今後の改善策
- 現状でも述べているがガイダンス等での名簿取得が厳しく、新たな募集方法としてネット系で学生を呼び込む活動を本格的に始めたため、情報発信の更新を怠らず常に最新情報を送り、本校の魅力を知ってもらうことが重要である。体験入学会等に参加した学生へきめ細かな対応をすることにより、入学率のアップを図る。
- 課題である知名度アップのため、ガイダンスへの参加のみでなく高校訪問も重要である。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 2、どちらともいえない 1、不適切 1】**
- 体験入学参加者からの入学者の%はいくつか？ただ、42%と記入されているのは、おかしいです。
- 職員の高校訪問で本校の知名度をアップして、体験入学会に参加していただき参加者と保護者に本校を理解していただきたい。ネットや SNS などの利用も有効と思われる。
- SNS を活用するにあたり、トリマーを目指す学生を増やす・・という母数を増やすような投稿も混ぜると良さそう。また、入学率が低い理由の精査は必要。

（8）財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計検査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

① 現状

・ 平成17年に専修学校認可を受けて以来、学校の財務状況は常に安定している。また、本来専修学校に順守義務はないが、学校法人会計基準に従い会計処理を行い貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成している。
・ 公式ホームページ上において財務に関するデータを公開している。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**

・ 学生保護者の不安材料（通学している学校の経営状況）を払拭するためにも安定した財務と財務公開は評価したい。
・ 改修の為の予算の算出が課題。

（9）法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	(4) 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	(4) 3 2 1

① 現状

・ 本学は、法令及び専修学校設置基準を順守し適正な運営に努めている。具体的には、校地・校舎、理事会・評議員会の定期的な開催、年間授業時数、毎年の健康診断、JR東日本への学校指定の申請、監督官庁への各種届出、各種資格認定団体への届出、勤労学生控除、教員の採用・解職、文書管理保存規定、個人情報保護法令などである。
・ 個人情報の保護に関しては、すべてのコンピュータにウイルス対策ソフトを導入し、書類は保管庫の施錠を徹底。また、文書類を破棄する場合はシュレッダーにかけて処分することを徹底している。
・ 学生の写真、動画、情報等について公開する場合、必ず本人及び保護者の同意を得ている。
・ 毎年、自己評価、学校関係者評価の実施を行いHP上で公開している。

② 課題

・ 専修学校では義務化はされていないが第三者評価の導入も検討する必要がある。

③ 今後の改善策

・ 第三者評価に、今後組織的に取り組んでいくことを検討し改善を図る。
・ 第三者評価にかかる事務手続きの負担を考えると今すぐの導入は難しい。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**

・ 個人情報の保護や学生の肖像権などの保護などを厳守していることを評価します。

（10）社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4　(3)　2　1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4　(3)　2　1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	(4)　3　2　1

① 現状

・ 毎年、中野区専門学校協会の活動の一環として、中野区内の中学校へ出張授業を行っている。ペットのしつけやグルーミング、健康チェックなどを実演し、ペットに対する知識を広め、職業に対する理解を深めるよう努めている。また、毎年春に行われるFCIインターナショナルドッグショーにおいては、学生、教職員全員で参加をし、ペットの相談コーナーなどにおいて、一般の方との交流を深め、職業に対する理解を深めるよう努めている。
・ 著名講師を招き、CAPP活動（コンパニオンアニマルパートナーシッププログラム）に関する講演会を毎年開催し、アニマルセラピーに関わるトリマー、動物看護師の役割について学生に周知している。
・ 本校講師の所属する団体において国際大会などへのボランティア派遣を募るなどして社会活動に参加する機会を設けた。
・ 授業の一環として犬の幼稚園を実施するにあたり、近隣の住民への告知及び参加を募った結果、多くの方々の参加をもたらした。

② 課題

検討中

③ 今後の改善策

・ 引き続き学校を通じてボランティアに携わる機会が増えるよう、教職員会議などで定期的に議題に上がるよう努める。
・ 引き続き地域住民との関係性向上に努めていくこと。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見 **【適切 3、どちらともいえない 1、不適切 0】**

・ 地域の小中学校と連携して出張授業を行うなど地域貢献を行っている。また、各種イベントに職員や学生を積極的に派遣していることも評価したい。